

日報（操業実習の様子12）

適水2日目午後、当直以外の生徒はのんびり休んでいたところ、15時30分頃宮城県水産高校の宮城丸から連絡が入り、神海丸近くを航行すると情報が入りました。

広い太平洋上において、お互い水産・海洋教育について志をもって実習に取り組む「仲間です！！」 こうした機会はめったにありません。神海丸も全員甲板へ上がりました



宮城丸のブリッジにもたくさんの生徒の姿があります



宮城丸は昨年建造の新船です。ブリッジ横には「おにぎり」のマスコットキャラクターらしきものもみえます・・・たぶんむこうからは「しまねっこ」がみえているはずですよ。

漂泊中の神海丸の周囲をゆっくり一周し、エール交換を行いました。





最後はみんなで一生懸命手を振りました。そして別れの汽笛・・・！

宮城丸は、2回程度操業を実施の後、寄港地沖縄へ向け航海予定との事でした。シーマンシップの「心意気」を感じられる時間だったのでは無いでしょうか。

明日から本船も操業再開。頑張ります！！